

ごみ資源化施設建設

NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、2020年度からの稼働を予定している新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

新たな『ごみの焼却施設』をご紹介します

新しい焼却施設は最新の技術を導入し『町田リサイクル文化センター』の現在の施設を運転しながら敷地内に不燃・粗大ごみ処理施設、バイオガス化施設と共に環境に配慮した設備を一体整備する計画です。

なぜ、新たに建設するの？その理由は・・・

- ・現在の焼却施設は稼働から30年経過しており、老朽化のため毎年多額の修繕費がかかっています。
- ・新しい施設では排ガスなど、今よりも環境負荷を低減できます。
- ・最新の技術を導入することで、より安全な施設になります。

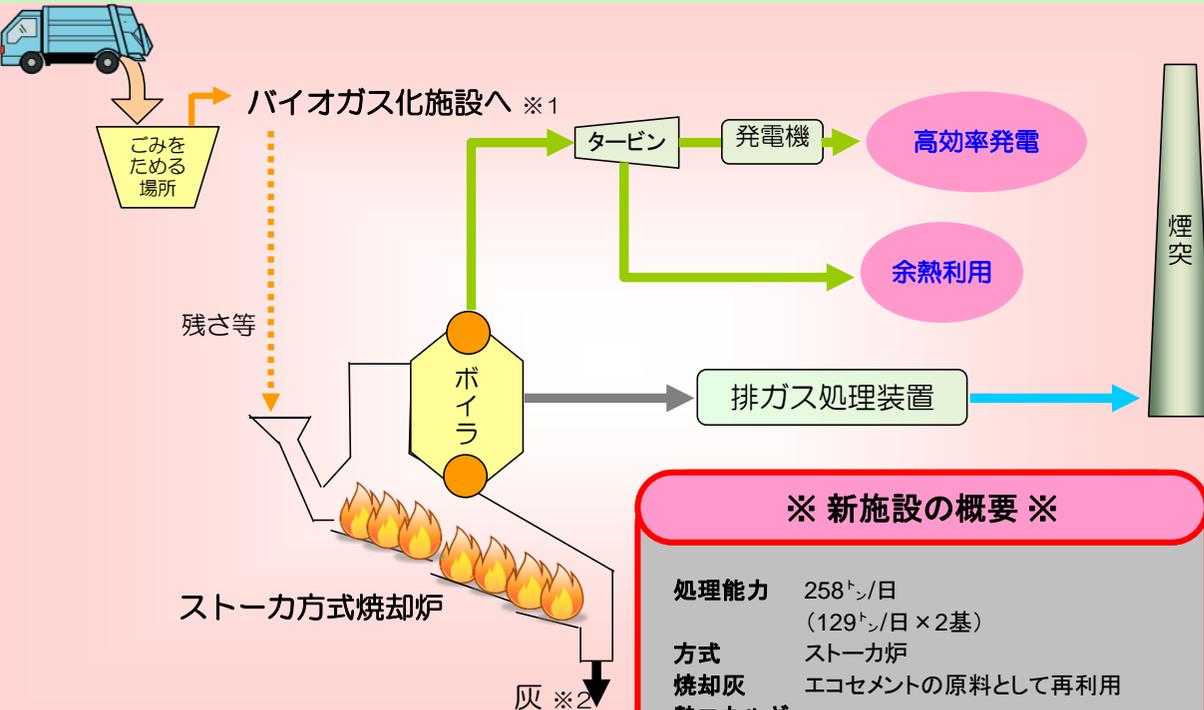
新施設はいつできる？

2020年稼働開始を目指しています。

建設費用は全て市が出す！？

焼却施設等の建設費用は計画では約200億円ほどかかる試算ですが、国からの『交付金』という補助があります。高効率ごみ発電設備については2分の1の割合で、その他の対象の部分については3分の1の割合の交付金を見込んでいます。

新しい焼却施設の特徴 ~4つのポイント~



※ 新施設の概要 ※

処理能力 258ト/日
(129ト/日×2基)

方式 ストーカ炉

焼却灰 エコセメントの原料として再利用

熱エネルギー 発電による売電、温水プール等の熱源

※1 バイオガス化施設とは、生ごみを微生物の力で発酵させてバイオガスをつくる施設です。バイオガスは再生可能エネルギーとして、活用します。

※2 灰はエコセメント化して資源化し、建築資材としてリサイクルされます。

ポイント1: 周辺の環境に配慮!

煙突から出る排ガスには、法令による排出基準がありますが、町田市では更に厳しい独自の基準(自主規制値)を設定し、環境負荷の低減に努めます。

項目	法規制値	新たな焼却施設
ばいじん	0.04以下	0.005g/m ³ 以下
硫黄酸化物	580程度	10ppm以下
窒素酸化物	250以下	30ppm以下
塩化水素	430以下	10ppm以下
ダイオキシン類	0.1以下	0.01ng-TEQ/m ³ N以下
水銀	規制値なし	0.03~0.05mg/m ³ N以下

排気ガスの法規制値と新たな焼却施設の自主規制値

ポイント2: 規模を約4割縮小!

資源化を進め、焼却量を減量します。それにより、1日に処理できるごみの最大量は258トンになります(現在476トン)。また焼却炉の方式は、一度に大量に燃やせる現在の流動床炉から、少ない量でも時間をかけて安定燃焼できるストーカ炉になります。

ポイント3: 高効率発電!

焼却施設では、ごみをただ燃やすのではなく、水から蒸気を作りタービンを回すことで発電し、エネルギーとして回収します(サーマルリサイクルと言います)。新しい施設では、最新技術でより効率よく発電できるため、無駄なく再生可能エネルギーとして活用できます。

ポイント4: 災害に強い防災拠点!

災害時、外部電力が途絶えてもバイオガスによる発電や焼却施設の高効率発電によりエネルギーの活用ができます。また、物資を備蓄したり建物を堅牢にすることで災害時、地域の防災拠点にもなり得ます。

新たなごみの資源化施設 Q & A

Q 現在と比べてどう変わる？

A 最新の技術により、次のように変わります。

- ・排ガス濃度が低減されるとともに、二酸化炭素排出量が削減されます。
- ・運転コストが低減されます。
- ・ごみ発電が高効率になり売電量が増えます。
- ・建物がコンパクトになります。

Q 今、使っている焼却炉はどうするの？

A 今、使っている焼却炉は、新たな焼却施設が稼働を開始し、安定して運転できるようになったときにその役目を終了します。

古い焼却炉は、外部に粉じんなどが飛散しないように十分に養生し施設内部を清掃後、国のガイドラインにそって解体します。

地区連絡会がスタートしました

「地区連絡会」は、町田市の資源循環型施設の整備に当たり、安心かつ安全な施設を整備するため、市民のみなさんと協働して検討を進める場です。この地区連絡会は、町田リサイクル文化センター【焼却(熱回収)・粗大不燃・バイオガス化施設】と、相原・上山田西部【ビン・カン・ペットボトル等資源ごみ処理施設】の計3ヶ所に設置されます。

地区連絡会では、施設の整備や、運営管理に関することなどについて話し合っていきます。また、地域のまちづくりなどに配慮しながら、協議を進めていきます。

なお、地区連絡会は、どなたでも傍聴していただくことができます。日程などの詳細は「広報まちだ」および「町田市ホームページ」でお知らせします。

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会



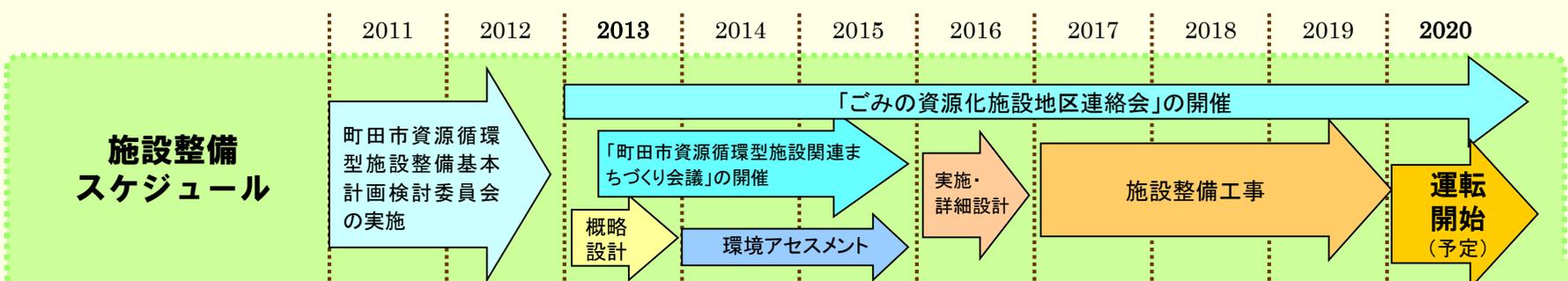
「第1回 町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」が10月30日(水)に開催されました。第2回は11月21日(木)に行われました。

相原地区資源ごみ処理施設連絡会



「第1回 相原地区資源ごみ処理施設連絡会」が10月19日(土)に開催されました。

2011年4月に策定した「町田市一般廃棄物資源化基本計画」では、2020年度までにごみとして処理する量を40%削減することを全体目標としています。新たな焼却施設の規模を、現施設の約6割(258トン/日)に縮小するとともに、バイオガス化施設(50トン/日)を設け、ごみの減量と資源化率の向上、二酸化炭素の排出量削減を目指しています。



みんなで実現！ごみマイナス40% -40%

みんなで実現！
ごみマイナス40%